

令和6年度富山県デコ活参加促進キャンペーン事業業務委託に係る公募型プロポーザルの質問に対する回答

【令和6年5月13日(月)9時時点】

※今後、新たな質問が提出されましたら、回答を追加掲載します。

番号	質問	回答
1	<p>実施要領内に「② 企画提案内容(任意様式。ただし、A4判15枚以内とする。)」と記載がありますが、表紙を含めたページ数という認識でしょうか。</p>	<p><b>【令和6年5月7日回答済】</b>  お見込みのとおり、「表紙を含めたページ数」をA4判15枚以内としてください。</p> <p>なお、別途提出いただく以下の書類に記載のある内容(事業者の名称や担当者の氏名など)を改めて表紙としてまとめる必要はなく、すぐに企画提案内容を記載いただいて結構です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 企画提案書(様式第1号)</li> <li>③ 業務実施体制(任意様式)</li> <li>④ 概算見積書(任意様式)</li> <li>⑤ 参加者の概要がわかる資料(任意様式。会社概要パンフレット等)</li> </ul>
2	<p>ターゲット設定について質問です。  「富山県内20～40代、特に子育て世代」として、下記のように割と具体的に価値観を挙げられていますが、こちらは何か調査データ等が基になっているのでしょうか？  下記の指標を挙げられた根拠をお聞きできればと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「経済的なゆとり」や「安心・心の余裕」などのウェルビーイング指標が低い傾向にある。</li> <li>・タイムパフォーマンスを重視している。</li> <li>・自分らしいもの、新しいものへの感度が高い。</li> </ul>	<p><b>【今回追加回答】</b>  本県が実施した「令和5年度ウェルビーイング県民意識調査」の結果をもとに、「富山県内20～40代」と設定したものです。</p> <p>この調査において、「『経済的なゆとり』や『安心・心の余裕』などのウェルビーイング指標」は、年代が20代から40代に上がるほど低下する傾向がみられています。</p> <p>また、消費者庁の「令和4年度消費者意識基本調査」で年齢層が低くなるほどタイムパフォーマンスを重視する傾向が見られたこと、内閣府の「社会意識に関する世論調査」で年齢層が低くなるほど社会よりも個人生活の充実を重視する傾向が見られたことから、「『経済的なゆとり』や『安心・心の余裕』などのウェルビーイング指標が低い傾向にある。」、「タイムパフォーマンスを重視している。」、「自分らしいもの、新しいものへの感度が高い。」をターゲットの価値観として設定したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度ウェルビーイング県民意識調査  <a href="https://www.pref.toyama.jp/100224/r5wellbeing_chosa.html">https://www.pref.toyama.jp/100224/r5wellbeing_chosa.html</a></li> <li>・令和4年度消費者意識基本調査  <a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_002/">https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_002/</a></li> <li>・社会意識に関する世論調査  <a href="https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-shakai/">https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-shakai/</a></li> </ul>